

曲目解説

男声合唱とピアノのための「新しい歌」

信長貴富作曲。東京六大学合唱連盟の委嘱により作曲され、2000年5月3日に初演されたこの組曲は、その後様々な合唱団に取り上げられ、今では男声合唱に欠かせないレパートリーのひとつになっています。「新しい歌」「うたをうたうとき」「きみ歌えよ」「鎮魂歌へのリクエスト」「一詩人の最後の歌」の5曲からなり、詩はすべて国内外の別の詩人により書かれたものです。5つの詩はすべて「うた」をテーマに書かれており、私たちが普段から耳にし、歌う「うた」が普遍的なものであり、様々な表情を持っていることをあらためて気付かせてくれます。そのキャラクター豊かな5つの詩の世界観を、信長貴富の親しみやすいメロディに乗せて、「時にPopに、時にJazzyに」OBメンバーが存分に表現いたします。お楽しみに！

屋根の上のヴァイオリン弾き

「屋根の上のヴァイオリン弾き」は、第31回早稲田大学グリークラブ定期演奏会（1983年12月3日）で大評判をいただいた演目です。以後早稲田グリー自身も含めてどこの合唱団にも再演されず、“伝説のポピュラスステージ”といわれてきましたが、四半世紀の時を越えて、いまその封印が解かれようとしています。人数も練習時間も豊富な学生たちと違い、普段は週末に数時間集まって練習するのがやっとのOBメンバーズ…。あえて往年の熟演の再現を狙うのではなく、むしろ、それぞれが齢を重ね、社会の荒波の中で喜怒哀楽を味わい、本作品の主人公・テビエの気持ちを少しは理解できるようになったOBにふさわしい、また新たな「屋根の上のヴァイオリン弾き」を、ファイアーバード・ジャズ・オーケストラの皆さんの力を借りて、創りたいと思います。乞うご期待！

男声合唱曲「岬の墓」

オリジナルの混声合唱曲を、1975年に早稲田大学グリークラブのために福永陽一郎が男声合唱に編曲した作品。堀田善衛の「深い詩」、團伊玖磨の「骨太の音楽」による屈指の名曲です。

男声版・混声版とも昨今は演奏機会がほとんど無い中、本年7月、東西四大学OB合唱連盟演奏会で稲門グリークラブが演奏し好評を博しました。同じ早稲田グリーのOB団体ですが、OBメンバーズ2009による演奏は、またひと味違います。どうぞご期待下さい！！



片桐 由里亜 (かたぎり ゆりあ)

3歳半からピアノを始め、山田朋子氏に師事。

1998年から桐朋学園音楽部付属子供のための音楽教室仙川教室へ入室。

第18回日本ピアノ教育連盟オーディションA部門入賞、入賞者演奏会出演。

第56回全日本学生音楽コンクール東京大会小学校の部第3位、第58回全日本学生音楽コンクール東京大会中学校の部第2位。

2006年4月、桐朋女子高等学校音楽科入学。

2007年、第61回全日本学生音楽コンクール東京大会高校の部第3位、全国大会入賞。

2009年3月、桐朋女子高等学校音楽科ピアノ専攻を主席で卒業、卒業演奏会出演。

現在、桐朋学園大学音楽学部1年在学中。玉置善己氏に師事。

ファイアーバード・ジャズ・オーケストラ

1995年墨田区で誕生したビッグバンド、ファイアーバード・ジャズ・オーケストラは、毎年3回のライブステージと、すみだトリフォニー・大ホールでの演奏会を行ってきました。

内容も多岐にわたっており、ジャズの演奏はもちろん、ダンスチームやタップダンスとのコラボレーションなどで大きな成果を上げてきました。

また2008年秋には、新国立劇場で行われた日本ジャズダンス芸術協会主催公演（平成20年度文化庁芸術祭参加作品）にも招聘され絶賛を頂きました。

今回、ミュージカル「屋根の上のヴァイオリン弾き」の伴奏で早稲田大学グリークラブOBメンバーズと初めての共演をいたします。



「早稲田大学グリークラブOBメンバーズ」とは？

[History]

1999年11月、昭和50年代以降早稲田大学グリークラブを卒団した(当時)比較的若手のOBが集まって、シンガポールへの演奏旅行を行いました。これが、早稲田大学グリークラブOBメンバーズの活動のルーツです。わずか2回の公演ではありましたが、現地で好評を博し、参加したメンバーにも充実感と深い感動を残す演奏旅行となりました。

翌2000年、「シンガポール演奏旅行の感動をもう一度！ これからも若手OBの力で、現役に負けない良い演奏を続けたい」というOB有志の熱い思いから、シンガポール演奏旅行メンバーのみならず、広く若手OBの参加を募って、東京での演奏会をスタートしました。第1回の演奏会は2000年12月2日、江東文化センターで開催され、その後2007年まで毎年欠かさず演奏会を開催してまいりました。昨年2008年はサントリーホールでの「早稲田大学グリークラブ創立100周年記念演奏会」(OB会主催)に全OBの力を結集するということで、OBメンバーズの演奏会はお休みにしましたが、今年2009年より復活！ シンガポールから数えて満10年、10回目の節目の演奏会を開催する運びとなりました。

[Concept]

OBメンバーズのコンセプトは、「全員4年」と「集まり散じて」です。「全員4年」とは、「早稲田グリーの責任学年である4年生を経験した者どうし、卒団年次に関係なく互いに敬意を払い、各自が責任を持ってその時々に行える最高の演奏をめざそう」ということを意味しています。

また、OBメンバーズは毎年の演奏会を開催するにあたり、“この指とまれ方式”でメンバーを募っています。「仕事や家庭と折り合いをつけながら集まったメンバーで、その年の音楽を創っていこう。たとえ今年は都合がつかなくても、来年はきっとまた一緒に歌おう。去る者は追わず、来るものは拒まず」。これが早稲田大学校歌の歌詞の一節でもある「集まり散じて」にも通じる、私たちのもう1つのコンセプトです。

創設から10年の時を経て、当時からのメンバーは着実に10年の齢を重ねた一方で、今年卒業したばかりのOBの参加も得て、メンバーの最大年齢差も約40年！

親子以上に広がりました(実際の「親子」もいます)。こんなOBメンバーズですが、ぜひ一度、私たちの生演奏を聴いてみてください。

お楽しみいただけること、請け合いです！ 会場で皆さんにお会いできることを、一同心よりお待ちしております。